

4歳の発達のめやす（個人差があります）

4歳は「自分」と「友達」の世界が広がる時期です。

体も心もぐんぐん成長して、「自分でやりたい」「お友だちと一緒にしたい」という気持ちが大きくなります。

自分でできることが増えて自信を持つ一方、お友だちと関わる中で思い通りにいかない経験も増えます。

そのため、保護者の方は「できたことを認めて励ます」「気持ちを言葉にする手助けをする」ことを大切にあげましょう。

運動面

- ・走る、ジャンプ、ケンケンが上手になる
- ・ボールを投げる／キャッチが少しずつできる
- ・歌や踊り、まねっこ遊びを楽しむ
- ・絵を描き、簡単な形や人の形を描く



ことば

- ・言葉の数が増え、「どうして？」「なんで？」と質問が多くなる
- ・自分の気持ちを言葉で少しずつ伝えることができる
- ・ごっこ遊びが好きになり、ストーリーを作って遊ぶ

お友だちとの関わり

- ・お友だちと一緒に遊ぶことが楽しくなる
- ・ルールのある遊び（鬼ごっこ、簡単なゲーム）が少しずつできる
- ・「貸して」「一緒にしよう」など、友達を意識した関わりが増える



こころの育ち

- ・「できた！」という達成感を強く感じる
- ・何でも自分でやりたい気持ちが強くなる
- ・気持ちのコントロールはまだ難しく、泣いたり怒ったりする

このようなことに困っていませんか？

- ★お友だちや兄弟姉妹と、おもちゃの取り合いなどでケンカをよくします。



☞こんな時は・・・

一緒に遊ぶことができるようになる一方で、自己主張によりケンカになることがあります。

「順番ね」「一緒に使えるかな？」と具体的に提案してみましょう。

どちらが悪いかわかり「どうすれば一緒に遊べるか」を考えられるような声かけをしてみましょう。



- ★自己主張が強いことや、「自分でやる！」が多くて、どのように接したらいい？

「ママ(パパ)がやるのは嫌」と拒否をします。



☞こんな時は・・・

選択肢をしばって、「○○と△△、どっちがいい？」と聞いてみる、自分でやりたい気持ちが

強い時は、時間があるときはやらせてあげ、時間がないときは「一緒にやろう」と声をかけてみましょう。

自分でできたことを認めて「よくできたね」と声をかけましょう。



● 不安や悩み事などがあるときは、いつでも相談してください

城陽市こども家庭センターTEL：55-1113